

新大阪駅周辺地域 経過及び検討スケジュールについて

新大阪駅周辺地域の経過などについて

○ 国の「骨太の方針《抜粋》」 H30.6

- 新大阪駅について、リニア中央新幹線、北陸新幹線（詳細ルート調査中）等との乗継利便性の観点から、結節機能強化や容量制約の解消を図るため、民間プロジェクトの組成など事業スキームを検討し、新幹線ネットワークの充実を図る。

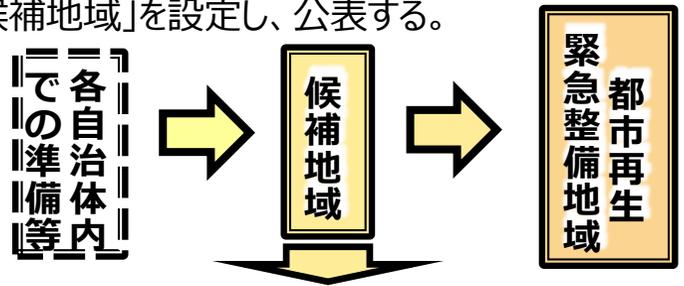
(新大阪駅周辺地域をとりまく環境のイメージ)



○ 都市再生本部の動き (本部長：内閣総理大臣) H30.7

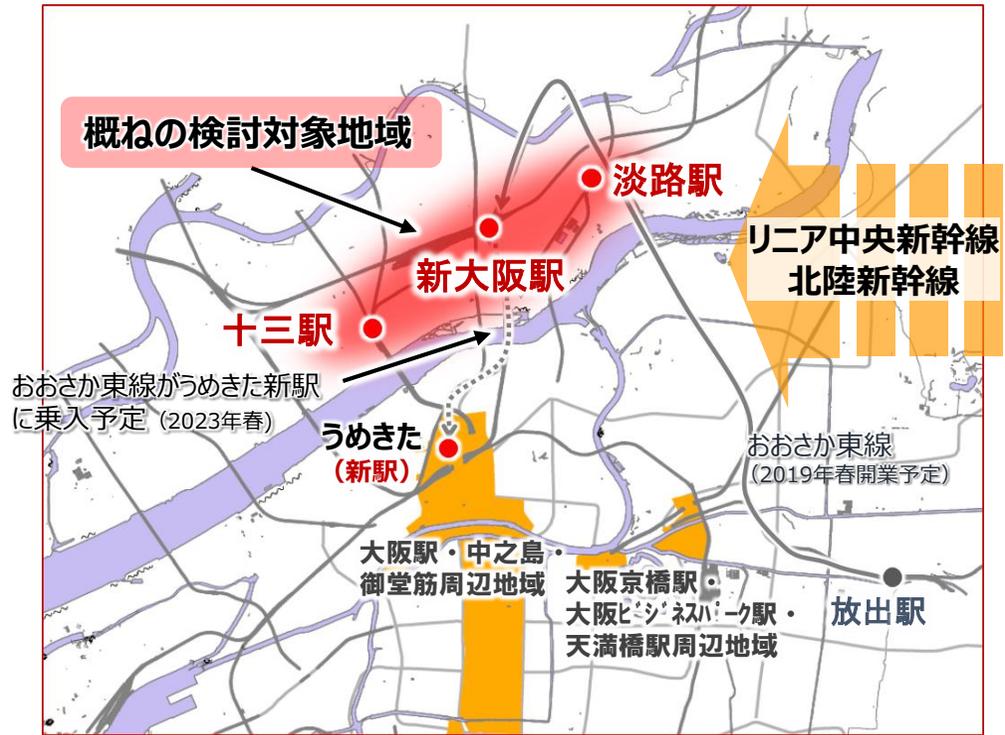
■ 都市再生緊急整備地域の候補となる地域 (仕組みが追加)

- 都市開発の気運醸成を促し、早期の民間都市開発を図るため、国が「候補地域」を設定し、公表する。



8/29 新大阪駅周辺地域が候補地域として公表

○ 大阪都心部の都市再生緊急整備地域 (候補含む)



都市再生緊急整備地域の効果 (例)

容積率の緩和 + 地域貢献 (基盤整備等)

うめきた (グランフロント大阪)



大阪駅北地区
容積率:800% → 1600%
地域貢献 : 広場整備等

2018年度

- 第1回検討協議会会議(2019年1月22日)
 - ・新大阪駅周辺地域の担うべき役割

2019年度

- 第2回検討協議会会議(春～夏)
 - ・新大阪駅周辺地域に導入すべき都市機能
- 第3回検討協議会会議(秋～冬)
 - ・対応すべき課題
- まちづくり方針の骨格のとりまとめ(年度末)